

3月5日

19年間にわたって地域医療に貢献 舩田院長に感謝状を贈呈

感謝状と花束を手にする舩田院長



3月末で摩周厚生病院の院長を退任する舩田和之院長が3月5日、弟子屈町議会を訪れました。舩田院長は平成17年に同病院では初めての常勤整形外科医として赴任し、19年間にわたって当町の地域医療の発展のために尽力されました。「弟子屈町は住みやすい町で、気がつけば19年間も経っていた。皆さんのおかげです。」と舩田院長が感謝の言葉を述べた後、徳永町長から感謝状、近江屋町議会議長からは花束が手渡されました。

学芸員講座の様子



講座は、今回で2回目の開催となりました。今回は「小田切栄三郎を知る」と題し、小田切栄三郎の生い立ちや町に移民を導入したり、農業に畜産を取り入れたり町にもたらした功績、町の農業の成り立ちなどをわかりやすい解説で学べる講座となり、参加した皆さんも真剣に耳を傾けていました。

2月29日

小田切栄三郎を知る 学芸員講座を開催

町ふるさと歴史館の学芸員である津久井薫さんが2月29日、学芸員講座を町公民館で開催し、46人もの参加者が集まりました。学芸員による

2月1日～29日

弟子屈で最高の思い出を 高橋志学さんウエディングフォト写真展を開催

高橋さんの作品の数々



弟子屈郵便局（藤原将男局長）では、2月1日～29日まで高橋志学さんのウエディングフォト写真展が開催されました。高橋さんは、町の地域おこし協力隊として2021年に着任。町内の豊かな自然をもっと多くの人に知ってもらいたいと2022年6月からウエディングフォト事業を始めました。展示作品は町内で撮影した10点が展示され、碓氷山など観光スポット以外にも雪景色や牧場などを背景にした、幸せが伝わる作品が来訪者の目を楽しませていました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

※7つくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (調整係)

3月11日

「社会を明るくする運動」道東作文コンテスト 林采音さんが佳作に選出

受賞した林采音さん(中央)



法務省主催の第73回「社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」道東作文コンテストに、川湯中学校(松永達郎校長)の3年生林采音さんが佳作に選出され、その伝達式が3月11日、同校で行われ弟子屈地区保護司会弟子屈町分区分会長井出雄策さんから表彰状が手渡されました。林さんの周りでは、いじめや犯罪はなく身近なものではないが、知らないといけないものと考え、今回いじめや犯罪をテーマに作文を作成。作文を作る中、ニュースなどで一方的な考えや決めつけをせず、物事を見ていかなければならないと考えようになったとのこと。「作文で自分の思いや考えが伝わったと思うと、とても嬉しい」と話していました。

3月7日

町の地域農業の発展に尽力 北海道産業貢献賞を受賞

受賞した塩沢さん(左から2番目)



町農業委員会前会長の塩沢稔宏さんが、北海道産業貢献賞(農業関係功労者)を受賞し、2月13日、札幌市内のホテルにて表彰式が行われました。塩沢さんは平成14年以來、農業委員会委員、会長職務代理、会長として町の農業発展に貢献。また、釧路地方農業委員会連合会会長、(一社)北海道農業会議理事、北海道農業者年金協議会副会長などの要職を歴任し、北海道の農業振興に尽力した功績が認められ、今回の表彰となりました。3月7日には町役場を訪れ、報告会が行われました。

2月28日

弟子屈探究で地域魅力化 教育実践表彰を受賞

賞状を手にする加藤校長(左)



弟子屈高校(加藤誠校長)は2月28日、2023年度釧路管内教育実践表彰を受賞し弟子屈高校で表彰式が行われました。同校は、22年度入学生から弟子屈探究のリニューアルを図り、自治体や地元企業と連携して地域課題の解決に向けた活動を実施。この活動が同校や地域の魅力化に繋がった功績が認められ、今回の表彰となりました。加藤校長は「来年度で全学年の1サイクルが終わるので、中身をさらに発展させたい」と話していました。

2月26日

税をテーマとしたポスターを作成 川湯中学校の生徒4人が入選

入選した生徒たち



北海道が主催する「第38回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」に川湯中学校(松永達郎校長)の3年生4人が入選しその伝達式が2月26日、同校で行われ、釧路総合振興局瀬戸辰也課税課長から表彰状が手渡されました。入選したのは、北海道知事賞入選の金子紗幸さん、釧路総合振興局長表彰入選の弟子りいなさん、北海道教育庁釧路教育局長賞の井上琳さん、島津慶久さんでした。北海道知事賞に入選した金子さんは、「賞を取れるとは思ってなかったので、びっくりしたがすごく嬉しい」と話し、4人の生徒が一度に入選したのは過去に例がなく、松永校長も「とても光栄なこと」と話していました。

3月15日

設立から38年 町暴力追放運動推進協議会が解散

会長を務めた高田中さん(中央)



町暴力追放運動推進協議会(高田中会長)は3月15日、解散総会を行いました。同協議会は、昭和61年に町内における暴力の追放を目的に設立。これまで、関係団体と連携をとりながら街頭啓発や巡視、研修会などを行い、町内の暴力追放に努めました。結果、現在では暴力団員数はほとんど存在なくなり、目的を達成したことから解散することになりました。今後、町内で暴力など重大な問題が起きた時は、町生活安全条例に基づく「生活安全推進協議会」にて問題解決にあたることになりました。

3月11日

人材育成を応援 ふるさと人材育成事業成果報告会

報告会の様子



ふるさと人材育成事業成果報告会が3月11日、町役場で行われました。ふるさと人材育成事業は、町民を対象に広い視野に立った人材を育成するため、国内外での研修や留学などへの助成を行う事業です。今年度は、株式会社テシカガタウンラボ(上村剛志代表取締役)が同事業を活用し先進地域の視察研修を行い、徳永町長らに報告会を行いました。同会社は、主に複合施設に入る図書館や特産品開発などを中心に、3日間で5か所の施設などを視察しました。上村代表は「実際に自分たちの目で視察することで、今後の町複合施設の運用に向けて参考にしたいことが多く見つけ、感じる事ができました。」と報告していました。

2月29日

特殊詐欺に気を付けて！ 特殊詐欺被害防止啓発運動を実施

啓発メッセージを渡す園児



川湯保育園(中村重忠園長)の園児たちは2月29日、増加する特殊詐欺被害防止啓発として、集まった祖父母や地域の人に向けて啓発メッセージを送りました。冒頭、川湯駐在所長の木下巡査部長から「特殊詐欺」についての講話があり、園児たちは集中して話を聞いていました。木下巡査部長は「詐欺の口口はさまざまで巧妙化しており、疑わしい場合は警察に相談してほしい」と話していました。

2月29日

避難所でのプライバシー保護に 避難所運営物品寄贈式を開催

寄贈した木暮副会長(左)



弟子屈防火管理協議会(筒井庄一会長)は2月29日、町にプライバシーテント6張りを寄贈しました。同協議会は、町内の防火管理者を中心に構成され、防火啓発活動に取り組んでいます。今回寄贈したプライバシーテントは、災害時に避難所で被災者のプライバシー保護に役立ててほしいと木暮敏副会長が町役場に訪問。木暮副会長は「授乳室や女性の着替えの際にも使えるので活用してほしい」と話していました。